学校番号	T3017

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術Ⅱ（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Ⅰで学習したことを生かしながら多様な表現方法を学びます。自己の主題やこだわりを確認し主体的・計画的に表現できるようにするため引き続きワークシートを利用します。作品の相互鑑賞により、表現と鑑賞を双方向に活かせるようにするとともに他者の表現意図を理解できるように学習します。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな美術の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい，多様な表現方法や美術文化に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて，感じ取ったことや考えたこと，目や機能，美しさなどから主題を生成し，創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，意図に応じて，表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し，そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	授業への出席、美術への関心、ワークシート、制作への取り組み姿勢等の学習態度を評価する。	授業の中での実践の状況やワークートの内容で評価する。	制作の過程の観察、ワークシート、提出作品等で評価する。	ワークシート、鑑賞文、授業中の発言内容、発表の内容等で評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7 8 9	オリエンテーション よく見て描く 平面構成 土から生まれるⅡ （生活のデザイン）	教科書作品鑑賞 鉛筆による葉のスケッチ パネル水張り（B２） 身近なものの形をモチーフに 色彩や技法をいかした構成 板作りのカップ制作	○		○ ○	 ○	a: 美術の多様性に関心をもっている。 a: よく観察し描いている。 a: 大きい作品の制作に意欲的に取り組もうとしている。 b: 作りたい作品のイメージにあった画材や技法を選んでいる。 b:粘土から実際に使う器を作ることに興味を持ち、目的や機能を考えている。 c:いろいろな技法に興味を持ち、試している。 d:自他の作品について良さやおもしろさに気づいている。	出席状況 授業態度 ワークシート 取組状況 提出作品 自己・相互評価
10 11 12 1 2 3	彫り進み木版 紙の彫刻	版画の種類と特徴 版画作品鑑賞 彫り進み(一版多色)版画制作 折りによる立体化の方法 自他の作品鑑賞	○	○	○ ○	○ ○	a: 自作品の意図をまとめ、他作品について理解しようとしている。 b: １枚の紙からの立体化に興味を持ち、作りたい形を求めて試している。 b: 版の特性を理解し、色の組み合わせ・重なりを考えて計画的に制作を進めている。 c:作成技能の基本的な習得ができている。 b:表したいことをしくみにいかしている。 d:自他の作品について良さやおもしろさに気づいている。	出席状況 授業態度 ワークシート 取組状況 提出作品 自己・相互評価

※　表中の観点について　a: 美術への関心・意欲・態度　　b: 発想や構想の能力
　　c: 創造的な技能　　d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。